

「リサイクルで未来クル懇談会」

不燃物処理工場と リサイクル工場の見学ツアー開催

「リサイクルで未来クル懇談会」は、ゴミ処理問題の現状を知ることが目的に、不燃物処理工場と広島県清掃事業協同組合リサイクルセンター及び㈱エフピコ福山リサイクル工場の見学を行いました。会のメンバーは「ゴミの分別、資源の再利用の現場を見て、環境に対する市民意識の向上を図る活動が必要だと再認識することができました。」と今後の意欲を語っておられました。

「リサイクルで未来クル懇談会」とは、「省資源、省エネルギー、リサイクル型社会」を目指して活動をしている市民団体です。参加団体は、三原市女性会連合会、

地球にやさしい三原推進協議会、国際ソロプチミスト三原、三原パイロットクラブ、三原ベンチャークラブ、三原ライオンズクラブ、環境ネットワーク三原、プレニューネット21(順不同、敬称略)及び(社)三原青年会議所です。

未来を創るのは 私達一人ひとりです

三原広域市町村圏事務組合
不燃物処理工場委託管理会社
㈱みどり商会

代表取締役 作田 佳史

ゴミの分別作業は、ほとんど手作業で行っているのが大変です。昔に比べれば、ペットボトルの中を洗ってキャップも外しラベルを剥がして下さる方の割合

が多くなってきていますし、皆様のゴミ問題に対する認識も少しずつ変わってきているのではないかと感じます。しかしながら、きちんと処理をしていないものもあり、このようなゴミは再利用することが出来ずに処分されてしまいます。将来の子どもたちにより良い環境を残すことが現世代のわれわれの使命だと考えれば、限られた資源を有効利用することは大切です。つまり、私達市民一人ひとりが高い意識を持ってゴミ問題を考え、日々の生活の中で実践してゆくことが重要だと思います。



「住民による 合併を考える会」



「住民による合併を考える会」(勝村憲明座長)は、去る11月10日(月)三原市中央公民館にて、今年最後となる全体会議を開催しました。座長の挨拶に続いて、五藤市長より、合併に関する経過や、現状の課題について説明があり、「新しいまちの姿を住民と一緒に考えてゆきたい。」、仁ノ岡議長も「市長と協議を重ねながら同じ方向を目指している。」と挨拶をされました。その後、今年の活動を検証し、最後に座長が「新市の建設計画に、住民の声がどれだけ盛り込めるか不安。今後は、合併についての状況を見ながら会を開催してゆきたい。」と締めくくりました。



その後、今年の活動を検証し、最後に座長が「新市の建設計画に、住民の声がどれだけ盛り込めるか不安。今後は、合併についての状況を見ながら会を開催してゆきたい。」と締めくくりました。



三原JC10月例会



10月20日(月)協働のまちづくり実践委員会(渡辺 敏委員長)は、10月例会を開催しました。例会では今年度行った委員会の事業の検証をし、オンリーワンの輝く魅力あるまちづくりに一番大切なのは、箱物やシステムではなく、まちづくりに前向きに参加する自立したひとづくりであると発表しました。今後、住

民と行政が交流しお互いを信頼しあえる関係をつくるのが協働のまちづくりを行う上での第一前提だと提案しました。青年会議所がまちづくりを継続して行うためには、まずメンバー自身が、使命感と志を確立し明るい豊かな魅力ある個人となるよう活動することが大切だと再認識しました。

広域青年協議会 経営の質を高める講座

「我々の活動をより活性化させるためには、会員一人ひとりの経営者としての基盤をしっかりさせることが必要だ。」との考えから「広域青年協議会」(佐藤恵美子会長)は、去る9月18日(木)三原市中央公民館においてビジネスセミナー「経営の質を高める講座」を開催しました。講師の(社)日本青年会議所JCビジネスアカデミー委員会委員菊川美仁君は「我々は経営者として時代背景が拡大社会から成

熟社会へ変わったことを認識し、その中で顧客が求めているものを把握して他社にないものを創り上げ差別化を図ることが重要である。また、経営の根底部分に一番必要なものは社会貢献という志であり、その志を会社全体に浸透させ実践してゆくことが大事である。」とアドバイスしました。参加者は「有意義なセミナーだった。自分の会社で実践してゆきたい。」と意識の変化を語っていました。

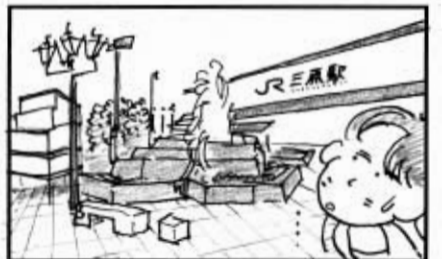


広域青年協議会とは、県中央部の青年団体が広域的な視野で、地域の個性を生かしたまちづくりを通して、地域経済の活性化に寄与することを目的に1985年に発足した団体です。その構成団体は、本郷・久井・瀬戸田・御調・河内・大和の各町商工会青年部と三原JCです。

エミリーの魅力

【 影 響 】

作者:すーみー



やさもっさ 広告協賛のお願い

本紙「やさもっさ」は、(社)三原青年会議所がまちづくり運動の一環として、本紙掲載企業の皆様からの広告協賛と、(社)三原青年会議所の自主財源によって発行しており、1月から年11回、三原市・久井町・瀬戸田町及び本郷町内の約32,000戸(平成15年現在)に新聞折込しております。私たちは来年度も本年度以上に、市民の皆様へ愛され親しまれる紙面づくりに邁進してまいります。何卒、三原市及び近郊の各企業の方々のご協力をお願い申し上げます。詳しくは下記の青年会議所事務局までお問い合わせください。

お問合せ先
〒723-0052
三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内
(社)三原青年会議所
TEL 0848-63-3515/FAX 0848-62-1141

編集後記

2003年の「やさもっさ」もいよいよ最終号を迎えることとなりました。そして、27年の輝かしい歴史・伝統と先輩諸兄のたゆまぬ努力に支えられ、「やさもっさ」300記念号を発行することができました。これもひとえに本紙の取材に快くご協力いただいた皆様、広告協賛企業の皆様、モニターの皆様、そして何よりも本紙読者の皆様のお陰と深く感謝いたしております。本年度は、「広聴広報」の理念に基づき、地域住民や有識者、行政の声なども取り入れ、「地域主権」「教育問題」「福祉問題」「地域経済」というテーマを主に、市民の皆様と共に考えてゆける紙面づくりに努め、議論してまいりました。また、これからの「みはらの将来像」について、様々な活動を報告し、共に考えていただく場が本紙「やさもっさ」であるとと考えております。今後とも本紙を通して(社)三原青年会議所の活動に対し、ご理解・ご協力をいただきますと共に、時には厳しいご意見をお寄せ頂けますようお願いいたします。ありがとうございました。

2003年度(社)三原青年会議所

理事長 佐藤恵美子 担当副理事長 平田 靖
広報委員長 住田 誠 副委員長 今井 督和
委員 兼保 義秀・木田 多泰・松浦 弘路・盛影 誠司

やさもっさTV 11月放送予定 (三原CATV)

時間	日	25(火)	26(水)	27(木)	28(金)
7:30			○	○	○
8:30			○	○	○
9:30			○	○	○
19:15		○	○	○	
21:15		○	○	○	
23:15		○	○	○	